

# 月刊 工連ニュース

OKINAWA  
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク

2016年 県産品奨励月間標語  
第40回 沖縄の産業まつりテーマ

「じょうとーむん 使うよろこび 県産品」

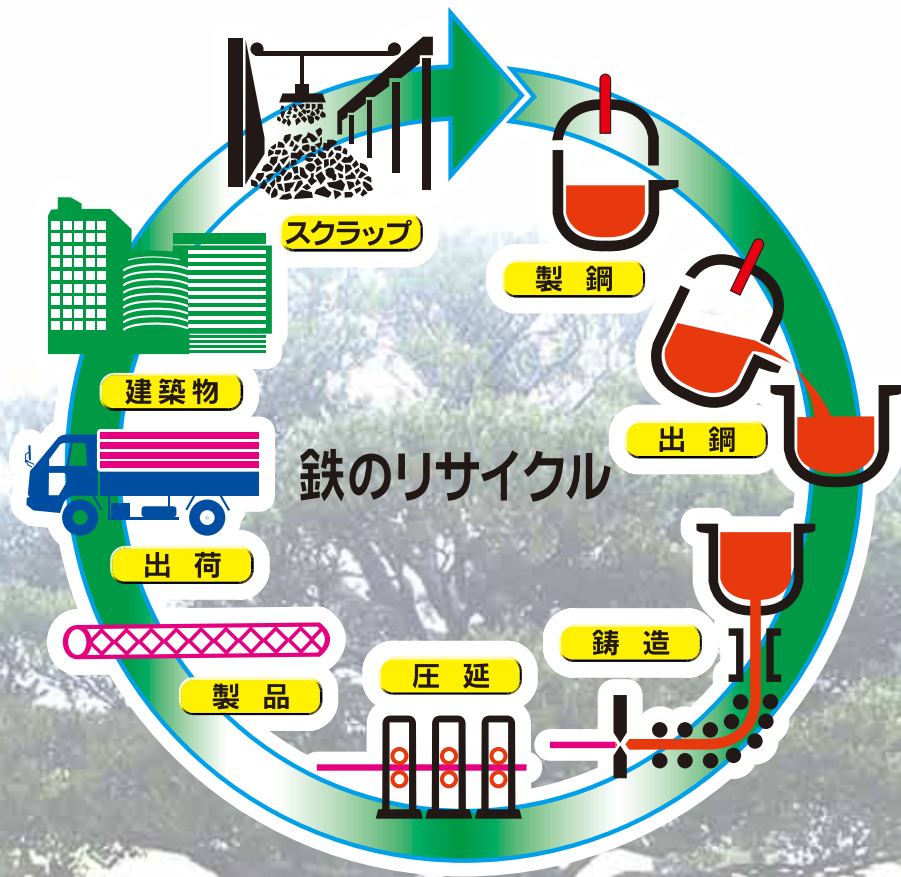
無限に広がる可能性で  
明日を導く

- ボイスシリーズ  
アジア経済戦略構想の推進  
沖縄県商工労働部長 屋比久 盛敏
- 「元気カンパニー」(株)技建
- 2016年 県産品奨励月間標語・工連表彰等受賞者決定
- 平成28年度 新入社員研修セミナー開催

2016  
5月号

Vol.618

# つまんちゆのチカラ。



鉄のリサイクル

資源には限りがあります。鉄も大事なりサイクル資源です。  
鉄のリサイクルを始めて半世紀、これからも  
沖縄経済の発展に寄与するとの使命感と、  
ゼロエミッション社会の実現のため邁進してまいります。



**拓南製鐵株式会社**  
<http://www.takunan.co.jp>

本社：沖縄県那覇市壺川3丁目2番地4(拓南ビル3F)  
TEL098-832-0588 FAX098-832-0586  
新中城工場：沖縄県沖縄市海邦町3番26  
TEL098-934-6822 FAX098-934-6833  
石灰工場：沖縄県名護市字安和西部間2656-2  
TEL0980-53-8018 FAX0980-53-8067

月刊 **工連** ニュース 5月号 Vol.618

- 2p ▶ voice vol.109  
**アジア経済戦略構想の推進**  
沖縄県商工労働部長 屋比久 盛敏
- 3p ▶ **2016年 県産品奨励月間標語決定**  
**工連表彰等受賞者決定**
- 4p ▶ **第50回 オグレスビー氏工業功労者賞**  
**および工連表彰受賞者**
- 5p ▶ **平成28年度 新入社員研修セミナー**  
(公社)沖縄県工業連合会
- 6・7p ▶ **キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」**  
**高強度コンクリートの開発で**  
**安心して暮らせる毎日を**  
(株)技建
- 8p ▶ **拓南製鐵(株) プレキャスト工法見学会**
- 9p ▶ **(株) KKI沖縄支店及び**  
**新工場竣工式・落成祝賀会**
- 10p ▶ **「オグレスビー氏産業開発基金・奨学金」**  
**授与式**  
沖縄工業高等専門学校
- 11p ▶ **沖縄の若者の海外留学促進のためのご支援のお願い**  
**沖縄からアジアへトビタテ!**  
**留学JAPANプロジェクト**
- 12p ▶ **沖縄高専だより**  
**沖縄高専イベント紹介**
- 13p ▶ **沖縄職業能力開発大学校**  
**2016年度 オープンキャンパスのご案内**
- 14p ▶ **琉球大学工学部後援会からのお知らせ**  
**CO<sub>2</sub>削減とエネルギー・水産資源の創出**  
**(株)沖縄ガス・(株)青い海・糸満市との**  
**産学官連携共同研究による実証試験**
- 15p ▶ **工業技術センターだより**  
**沖縄県工業技術交流センター**  
**(講堂・会議室等)を利用しませんか?**
- 16p ▶ **トピックス**  
**沖縄県幹部と工連執行部との懇談会**  
**沖工連青年部会 会員募集**  
**会員募集のご案内**  
**会員の皆様へ**

2016年 4月 工連日誌

- 5日(火) 沖縄県幹部と工連役員の懇談会  
●時間/7:30~8:30 ●場所/ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
- 6日(水) 4月定例執行部会  
●時間/10:30~11:50 ●場所/ホテルロイヤルオリオン  
平成28年度総務委員会  
●時間/12:00~13:30 ●場所/ホテルロイヤルオリオン
- 15日(金) 県産品奨励月間 標語選定審査会  
●時間/10:00~12:00 ●場所/沖縄産業支援センター
- 20日(水) 平成27年度事業の会計監査  
●時間/11:00~12:00 ●場所/工連会議室  
中城湾港新港区地区企業を対象とした支援(相談)事業  
●時間/14:00~16:30 ●場所/企業立地サポートセンター 他
- 21日(木) 県産品奨励月間 ポスター製作説明会  
●時間/11:00~11:30 ●場所/沖縄産業支援センター
- 22日(金) 平成28年度 新入社員研修セミナー  
●時間/9:30~15:30 ●場所/沖縄産業支援センター
- 27日(水) 5月定例執行部会  
●時間/12:00~13:30 ●場所/工連会議室

特許等取得活用  
支援事業

# 知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

## ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

個別対応のため予約が必要です

- 知財専門家が窓口へ常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。  
※詳しい日時に関してはお問い合わせください。

- ◎ **うるま窓口**(うるま市) 毎週 月~金(祝祭日を除く) / 8:30~17:15
- ◎ **那覇窓口**(那覇市) 毎週 火・水(祝祭日を除く) / 9:00~17:00
- ◎ **外部窓口**(名護) 毎月第4火曜日 / 9:00~17:00
- ◎ **外部窓口**(八重山) 偶数月・第4金曜日 / 10:00~17:00
- ◎ **外部窓口**(宮古) 奇数月・第4金曜日 / 10:00~17:00

全国共通お問い合わせ先



0570-082100 (有料)

☎098-995-8778

■ 内閣府沖縄総合事務局委託事業 / 実施: 一般社団法人沖縄県発明協会

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。

●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。

E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会

那覇市字小嶽1831-1 沖縄産業支援センター6F

電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193

編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

## アジア経済戦略構想の推進

はいさい、ぐすーよー

ちゅー うがなびら

沖縄県工業連合会並びに会員の皆様には、平素より本県の産業振興に御尽力賜り心から感謝申し上げます。

特に、県産品奨励運動や産業まつりの実施を通じて、県産品の品質向上や販路拡大に積極的に取り組まれるとともに、雇用の確保や本県経済の活性化に大きく貢献されていることに対し、敬意を表します。

沖縄県では、現在、県民とともに策定した総合的な基本計画である「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に基づき、ものづくり産業が県民のニーズに応えることができる地域産業としての地位を確立するとともに、成長のエンジンとして本県経済振興の一翼を担う移住型産

業として成長できるよう、戦略的な支援に取り組んでいるところであります。

また、沖縄21世紀ビジョン関連施策を補完・強化する「沖縄県アジア経済戦略構想」では、今後の沖縄経済を牽引する基軸となる「5つの重点戦略」、アジア市場を取り込むことで新たな成長を推進する「4つの産業成長戦略」、これら諸施策の実現に向けた「5つの推進機能」をその柱としており、本年3月に策定しました同推進計画では、本戦略構想に基づき、本県の経済発展を加速させる具体的な取組を推進することとしております。

沖縄の持つソフトパワーを活かし、これまで沖縄経済を牽引してきた地域産業のさらなる成長を促すことを目的に、拡大し続けるアジア市場をも見据

えた戦略を展開し、沖縄の地理的優位性を活かした産業構造の構築を目指してまいります。

近年、国際社会を取り巻く環境は、日々めまぐるしく変化し、本県を取り巻く環境も例外ではありません。自立型経済の実現に向け、沖縄の歴史、文化、亜熱帯性気候から生まれ、育まれた地域産業の振興に、皆様とともに取り組んでまいります。

貴会並びに会員企業のみなさまにおかれましては、今後とも、沖縄県が定める毎年7月の「県産品奨励月間」にあわせて、各種キャンペーンや要請活動等に加え、県産品の愛用促進に取り組まれますとともに、毎年10月に開催される「沖縄の産業まつり」の開催など、県産品の品質向上や普及



沖縄県商工労働部長

屋比久 盛敏

大、地場産業の人材育成等に努めていただきたいと存じます。

結びに、貴会と会員の皆様の御活躍・御健勝を祈念するとともに、引き続き本県各種施策へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





## 2016年 県産品奨励月間標語決定

# 標語 「じょうとーむん 使うよろこび 県産品」

「2016年県産品奨励月間」標語選定審査会が4月15日(金)、沖縄産業支援センターで行われた。

7月1日からスタートする同事業は、県産品の愛用を啓発し、地場産品を使用することにより産業の振興・活性化はもとより、雇用の創出については県経済の発展に寄与することを目的に実施します。

今年は、508点の標語の応募があり、8名の審査委員で構成された選定審査会の下、「じょうとーむん 使うよろこび 県産品」が最優秀賞に選ばれた。

審査委員からは、「島ことばで県産品の良さ、使う喜びを表現しているのが評価された」、「沖縄方言を使用し、日常会話の中で県産品に愛着を持って語りかける表現が良い」、「島ことばの継承が言われている中で、冒頭に“じょうとーむん”と県産品の良さを方言で表現しているのが良い、「うちなあぐちと県産品に対するこだわりがあり、広く県民にPRできる標語である」などの講評があった。最優秀賞に選ばれた標語は、10月に開催される「第40回沖縄の産業まつり」のテーマとしても使用される。

### 最優秀賞 1点

「じょうとーむん 使うよろこび 県産品」

■ 金城 章 / (株)サン・エージェンシー

### 優秀賞 2点

「鳥を超え 世界へ羽ばたく 県産品」

■ 萩田 将光 / オリオンビール(株)

「触れるたび ドキドキワクワク 県産品」

■ 永山 幸夫 / 沖縄電力(株)

### 奨励賞 3点

「美ら島の 未来をつくる 県産品」

■ 山下 健太 / 海洋プランニング(株)

「しまんちゅの 温もり感じる 県産品」

■ 森田 清考 / 沖縄明治乳業(株)

「県産品 使う心が 愛ランド」

■ 新里 建二 / (名)新里酒造

### 標語選定審査委員

(順不同)

松元 剛 [(株)琉球新報社 編集局次長兼報道本部長]

石川 達也 [(株)沖縄タイムス社 編集局次長]

喜屋武静子 [(一社)沖縄県婦人連合会 理事]

野田 力 [生活協同組合コープおきなわ 店舗商品部長]

山城 宝 [(公社)沖縄県工業連合会 食品関連産業部会長]

眞志喜 実 [(公社)沖縄県工業連合会 建材関連産業部会長]

座喜味 肇 [沖縄県商工労働部ものづくり振興課 班長]

桑江 修 [(公社)沖縄県工業連合会 専務理事]

## 工連表彰等受賞者決定 ～平成28年度総務委員会～

工連表彰及びオグレスビー氏工業功労者賞について審査を行う総務委員会(執行部及び各部会長で構成)が4月6日(水)那覇市のホテルロイヤルオリオンで開催された。

今年度の工連表彰には優良従業員賞に50社86名、優秀技能者賞に8社8名、創意工夫功労者賞に2社1名1グループの推薦があり、総務委員会の審査において、各賞の受賞者が決定した。また、沖縄の工業発展に功績のあった人材に贈られる第50回オグレスビー氏工業功労者賞には2名の推薦があり、審査の結果、委員の満場一致で授与が決定した。

審査で選ばれた受賞者には、平成28年6月9日(木)に開催する第32回定時総会で表彰式が行われ、その席で表彰状並びに記念品が授与される。

### オグレスビー氏工業功労者賞及び工連表彰審査基準

#### ■ オグレスビー氏工業功労者賞

- ① 企業を興し、成功した者。
- ② 新製品を開発して成功した者。
- ③ その経営する企業によって沖縄経済に大きく貢献した者。
- ④ 人格高潔なる者。
- ⑤ 工業関係団体の理事・監事を経験したか、或いは現職の者。
- ⑥ 他の経済団体・組合等で役員を経験した者。

#### ■ 優良従業員賞

- ① 永年勤続者(入社10年以上)で他の従業員の模範であること。
- ② 推薦の枠は従業員が50名以下は1名、50名以上は2名、500名以上は3名、1,000名以上は4名まで推薦可能。

#### ■ 優秀技能者賞

- ① 社内における優秀な技能の持ち主で、実績顕著な者であること。
- ② その技能において5年以上の経験者であること。
- ③ 技能を証明することが確認できること。
- ④ 推薦枠は1社1名。

#### ■ 創意工夫功労者賞

- ① 職場内における創意工夫功労者で、実績顕著な者であること。
- ② 創意工夫の内容と実績が確認できること。
- ③ 推薦枠は1社1名または1グループ。

※各受賞者は4ページに掲載しております。

## 第50回 オグレスビー氏 工業功労者賞および工連表彰受賞者

第50回  
オグレスビー氏工業功労者賞受賞者仲本 勝男氏  
農業生産法人 株式会社仲善／代表取締役会長大坪 慎治氏  
沖縄県衣類縫製品工業組合／顧問

## ■優良従業員賞受賞者〔50社／86名〕

氏名	会社名
嘉手苺加代子	沖縄ハム総合食品(株)
友利 龍	琉球ガラス工芸協業組合
村石信茂	琉球ガラス工芸協業組合
金城敏陽	(株)おきざん
島袋昌也	リウコン(株)
上里 誠	リウコン(株)
宮城通之	(株)名護鉄工所
若林 登	(株)石垣の塩
知念直哉	沖縄テクノクリート(株)
宮城義行	沖縄テクノクリート(株)
末吉孝太郎	(株)沖縄環境保全研究所
神里 大	(株)沖縄環境保全研究所
大城俊六	沖縄県生コンクリート工業組合
鈴木淳史	オリオンビール(株)
金城良幸	沖縄製本(株)
高安善治	(株)仲本工業
与古田 修	(株)仲本工業
呉屋ナミ子	拓南鐵建(株)
阿嘉清武	昭和製紙(株)
安慶名有子	昭和製紙(株)
松野綾子	(株)沖縄ホーム
照屋寛富	(株)沖縄ホーム
前川史也	沖電企業(株)
前川健太郎	沖電企業(株)
與儀哲矢	総合紙器(株)
新城正光	総合紙器(株)
喜屋武聡	(株)沖電工
石原昌彦	(株)沖電工
大川正彦	沖縄プラント工業(株)

氏名	会社名
上間明子	沖縄プラント工業(株)
儀部健一	金秀鉄工(株)
高江洲美雪	金秀鉄工(株)
上間 豊	(資)沖縄関ヶ原石材
吉田富子	(有)沖縄長生薬草本社
儀武ミヨ子	(有)沖縄長生薬草本社
中村哲尚	大和コンクリート工業(株)
宇榮原隆	沖縄電力(株)
里 寛治	沖縄電力(株)
島袋 卓	(株)久米島の久米仙
國吉直子	(株)久米島の久米仙
小橋川尚由	金秀アルミ工業(株)
奥間邑次郎	金秀アルミ工業(株)
大城尚之	(株)恩納ガラス工芸育成センター
島袋加代子	沖縄明治乳業(株)
仲村 実	沖縄明治乳業(株)
上原 栄	金秀鋼材(株)
加島 悟	金秀鋼材(株)
比屋根方新	琉球セメント(株)
真栄田 豊	光文堂コミュニケーションズ(株)
村山直也	光文堂コミュニケーションズ(株)
久高靖志	沖縄ガス(株)
喜納 毅	沖縄ガス(株)
中村 寛	沖電水工事(株)
恒吉雅也	(株)開邦工業
榮野川盛也	(株)開邦工業
安里 強	拓南製鐵(株)
上原栄徳	拓南製鐵(株)
伊禮智之	拓南商事(株)

氏名	会社名
糸数 巖	拓南商事(株)
屋良正年	拓南伸線(株)
石川善彦	拓南伸線(株)
上里信雄	沖縄ガルバ(株)
仲村渠信彦	(株)仲善
中田幸也	(株)仲善
高良知秀	オキコ(株)
西原 香	オキコ(株)
新城京子	(株)あざみ屋
大濱千代子	(株)あざみ屋
兼城正美	(株)ざまみダンボール
喜名和成	(株)ざまみダンボール
岩切泰治	沖縄ピーシー(株)
久保 勇	沖縄ガスリビング(株)
平良道夫	(株)ミヤギパッケージ
宇根良和	(株)ミヤギパッケージ
大嵩勝之	沖縄ツーリスト(株)
山城優子	沖縄ツーリスト(株)
比嘉恒雄	沖縄ツーリスト(株)
又吉一文	(株)正広コーポレーション
比嘉利枝子	(株)琉球銀行
上地八江子	(株)琉球銀行
仲宗根ゆかり	(株)琉球銀行
稲福茂美	(株)琉球銀行
上地裕子	(株)アドスタッフ博報堂
下地秀子	(株)沖縄銀行
島袋 豊	(株)沖縄銀行
奥原吉雄	(株)沖縄銀行

## ■優秀技能者賞受賞者〔8名〕

氏名	技術の名称・会社名
中村真紀	テイasting能力及びブレンド能力、商品開発能力 ●久米仙酒造(株)
仲村勝義	ビール醸造に伴うエンジニアリング技術 ●オリオンビール(株)
安次富政光	鋼構造物工場製作組立工 ●(株)仲本工業
池根三善	配電作業工法 ●(株)沖電工

氏名	技術の名称・会社名
比嘉真吉	コンクリート二次製品工場における製造全般作業及び機械操作作業 ●大和コンクリート工業(株)
桑江 勇	セメント製造電気設備の保安管理技術の構築 ●琉球セメント(株)
玉城 剛	クレーンオペレータ ●拓南商事(株)
新 裕二	みんさー織りの製作 ●(株)あざみ屋

## ■創意工夫功労者賞受賞者〔1名／1グループ〕

氏名	技術の名称・会社名
藤村啓一郎	泡盛の商品企画・提案 ●まさひろ酒造(株)

氏名	技術の名称・会社名
C班サークル	早強クリン力採取率アップ ●琉球セメント(株)

# 平成28年度 新入社員研修セミナー

平成28年4月22日(金) (公社)沖縄県工業連合会



入社1年未満の社員を対象に、新入社員として身に着けておくべき心得と一般的なビジネスマナーを学ぶ機会を提供する沖縄県工業連合会主催による新入社員研修セミナーが今年度も那覇市の沖縄産業支援センターで開催されました。

主催者を代表して、沖縄県工業連合会副会長で人材育成委員会委員長を務める仲田龍男氏が挨拶し、「沖縄県の産業が発展するためには若い社員の成長が必要不可欠」と、参加した新入社員を激励しました。

緊張をほぐし、セミナーへの参加心得を確認するためのオリエンテーションとコミュニケーションを円滑にする雰囲気作りのためのアイスブレイクが行われた後、株式会社目加田経営事務所部長・チーフコンサルタント根橋弘行氏による講義がはじまりました。「伸びる新入社員とは」をテーマに、ビジネスコンサルタントとして数々の企業に関わってきた経験を基に、社会人として成長するために必要な基本姿勢と基本動作等について講じられました。根橋氏は、厳しい社会の中で上昇するため

と、「否定的な考えを持たず常に前向きな姿勢を保つこと」等を挙げ、「毎日の基礎の積み重ねがもつとも重要」と話しました。

参加者を7組に分けて行われたグループ討議では「プロフェッショナルとは」をテーマに、政治家やスポーツ選手等様々なフィールドで活躍するプロフェッショナルたちを例に挙げ、理想のプロフェッショナルの姿とは、またその理想を追い求めるためにどのような工夫、努力が必要かについて活発に意見が交わされました。

午後のビジネスマナートレーニングでは、発声、名刺交換、電話応対、接客訓練などにより実践的なマナーを取得できました。開始時にはやや緊張気味だった参加者も、徐々にセミナーの内容にも慣れ、積極的にトレーニングに取り組んでいました。

最後に、一日のセミナーを終えて得たものや感想をレポートにまとめ、今年度の新入社員研修セミナーが終了しました。沖縄の未来を担う新入社員たちの今後の飛躍に期待が高まります。



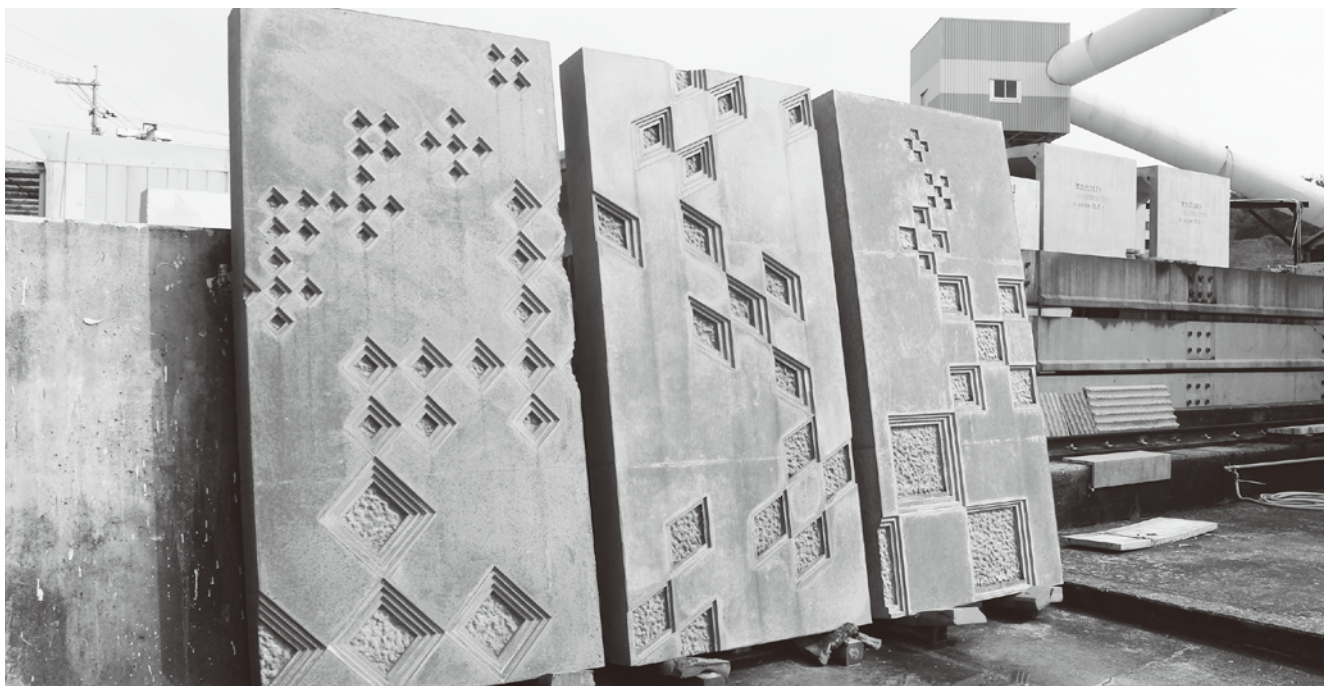
(公社)沖縄県工業連合会副会長  
人材育成委員会委員長  
仲田龍男氏



株式会社目加田経営事務所部長  
チーフコンサルタント  
根橋弘行氏







キラリ!  
元気  
カンパニー

沖縄の未来を  
照らす企業

## 高強度コンクリートの開発で 安心して暮らせる毎日を

株式会社技建

沖縄を代表する  
コンクリート建造物に関わる

株式会社技建は1971年の創業以来、生コンクリート及びコンクリート二次製品の製造販売等を主に取り扱っており、沖縄コンベンションセンターや沖縄県庁、沖縄県議会棟、国立劇場沖縄、県立博物館・美術館といった沖縄県を代表する建築物の建造に大きく関わっています。レディーミクスコンクリート及びプレキャストコンクリート製品の設計及び製造の技術においてISO、JISの認証取得など、そのすぐれた技術力が高く評価されています。今年度は新たに開発した「CFA-I種高強度コンクリート」が国土交通省の認定を取得。相次ぐ震災の影響等により建造物の強度が特に重視される昨今、県内外から注目を浴びています。

高強度コンクリートは粘りが強いいため、型枠の隅々まで充填するのに時間を要します。沖縄県内で主に製造されているコンクリートは、流動性を確保するため、海砂60%、砕砂40%の割合が採用されているものがほとんどです。しかし、「CFA-I種高強度コンクリート」は石灰灰からわずかに10%しか取れないという非常に希少価値の高いフライアッシュI種を生コンクリートの混和材として使用することにより、流動性の改善に成功。海砂を一切使用しない砕砂100%コンクリートの開発へとつながりました。海砂を用いないことにより、コンクリート内の塩分を低下させ、また、外部

からの塩害にも強く、耐久性を大幅に向上させるものとなります。

「この沖縄でも高層ビルや高層マンションの建築が増加傾向にあり、高強度コンクリートの需要も高まりつつある。県外の大手ゼネコンも積極的に進出してくる中、県内企業として技術力の向上は必須です。今回の国土交通省認定により、製品の価値はかりでなく、技建の持つ開発力・技術力を広く全国にアピールすることができたことをうれしく思います。開発に携わった社員にとっても大きな自信につながりました」と開発担当者語り。

沖縄の伝統工芸のひとつとして知られるミンサー織をモチーフにした特徴的な模様にも「県産品」としてのこだわりがこめられています。「県外企業との競争に打ち勝つだけの製品力を実現させるためにあらゆる工夫をしています。強度、作業速度、デザイン性、すべてにおいて現在、自社が持っているものをすべて注ぎ込みました」と製品への自信をのぞかせています。

すべてのニーズに応える対応力

南城市大里にある技建工場の敷地総面積は39,400平方メートル。広大な敷地内に小規模の作業場がランダムに設置されています。ラインを固定化せず、「見複雑に見えるこのような配置をあえて取っている理由として「顧客第一主義」という社理念があります。

「復興がはじまったばかりの戦後の沖縄





株式会社技建  
代表取締役社長 津波古 義秀



【建築実績】※写真左から

- 沖縄美ら海水族館 ● 那覇空港国際線アーチ梁 ● 運転免許センターアプローチ庇版

で誕生し、ブロックや側溝といった小さな製品受注からスタートした会社であり、当時からすべての注文を受け続けてきました。そのことから、どんな無理難題にも決してNOを言わず、他社が匙(さし)を投げようとする難しい技術や無理な注文にもできる限り応えるという姿勢を現在でも大切にしています。代表取締役社長の津波古義秀氏は話します。

会社の発展により敷地は徐々に広くなつていき、今後さらに拡大する計画も進行中だといいます。二次製品の受注が増え、ヤードの拡大が必要になったためとし、大型製品にも対応できる巨大ヤードの建設、設備の充実に取り組んでいます。今回発表した高強度コンクリートには、これまで廃棄物とされていた石灰灰を使用することで環境保護に役立てています。

会社の発展とともに地域も大きく発展を遂げており、近隣にも住宅が増加しています。そのことから企業が、事業活動を続けていくにあたり、従業員、関係取引先、消費者、地域社会、自治体や行政等と積極的に対話によって生まれる良好な関係を築き、社会に対しての責任を果たし、共に発展していくためのCSR活動の一環として、毎朝社員2名がボランティアアスタップとして工場前の歩道に立ち、大里北小学校の生徒たちが安全に登校できるよう誘導しています。2010年に社員が自主的にはじめ、現在までほぼ毎日継続しており、社内には地域の子供たちから贈られた感謝の手紙や校長からのお礼状が飾られています。

「企業にとってCSR活動は技術と同等といえるほど大切なもの。環境保護、地域とのつながりに対して真摯に向き合いたい」と津波古氏は話します。

さらに新製品開発にも積極的に取り組んでいくつもりであるとし、大規模震災が続き、建造物の安全性があらためて重要視されている現在、人間の生活に必要不可欠な建築に関わる県産企業として、今後さらなる発展が期待されています。



株式会社技建

- 業種  
生コンクリート・コンクリート  
二次製品の製造及び  
設計・販売
- 設立  
昭和46年10月7日
- 代表者  
代表取締役社長 津波古義秀
- 住所・連絡先  
(本社)沖縄県南城市大里  
字古堅1246  
TEL.098-945-2787  
FAX.098-945-1181



高強度コンクリート打設状況 株式会社技建

youtubeにて「高強度コンクリート打設状況」動画を配信しています。

右記のQRコードからアクセスするか、youtubeを開き「高強度コンクリート打設状況(株)技建」で検索ください。



「企業にとってCSR活動は技術と同等といえるほど大切なもの。環境保護、地域とのつながりに対して真摯に向き合いたい」と津波古氏は話します。

さらに新製品開発にも積極的に取り組んでいくつもりであるとし、大規模震災が続き、建造物の安全性があらためて重要視されている現在、人間の生活に必要不可欠な建築に関わる県産企業として、今後さらなる発展が期待されています。

# 拓南製鐵(株) プレキャスト工法見学会

平成28年4月19日(火)



見学会では現場にモニターも持ち込まれプレキャスト工法の具体的な解説がなされました。(写真上段)



全国的に人材不足が深刻化する昨今、沖縄県内における職人（鉄筋工、型枠工等）不足に多くの企業が苦しんでいます。特に離島においては本島以上に人員確保が難しく、工期の遅れや人件費高騰による入札不調等様々な問題が山積しています。

こういった厳しい状況の中で、確保すべき人員をいかに削減し、限られた人員を効率よく割り当てる作業が求められています。同時に、現場作業を減らすことで職人不足を解消することが重要視されています。

現場作業削減を可能にする最新の工法として注目されているのが「プレキャスト(PCA)工法」です。柱、梁、壁、床を可能な限り工場で作成し、現場で組み立てることによって、工程を簡略化。現場での作業量を減らし、工期短縮、コスト削減にもつながるといえるものであり、従来の工法と比べ、品質の安定化、輸送費削減、現場の美化等他にもさまざまな利点が挙げられます。品質管理の行き届いた工場で作成することにより、品質が均一化された高精度の部材の供給が可能となります。また、高強度のコンクリートを使用することで、耐久性や耐震性の向上にもつながります。さらには、現場作業削減により、工事中の騒音や産業廃棄物を最小限

に抑えることができ、近隣住民や環境への配慮も行き届かせることができます。

県内ではまだそれほど多く採用されていないプレキャスト工法を普及させるため、拓南製鐵株式会社主催による見学会が行われました。株式会社オリジン建設との共同建築として沖縄市に建設中の4階建て22戸の共同住宅は壁やベランダ等がプレキャスト工法によって製作されています。

主催者代表として挨拶した拓南製鐵株式会社代表取締役社長古波津昇氏は、「通常工法に比べ工期25%短縮」を目標に掲げ、「県内の人材不足は今後も深刻化していくことが予想される。人員不足による受注の取りこぼしや工期の遅れといった問題を解消すべく、プレキャスト工法を広く普及させたい」として、各方面へ協力を求めました。



拓南製鐵株式会社  
代表取締役社長 古波津 昇氏



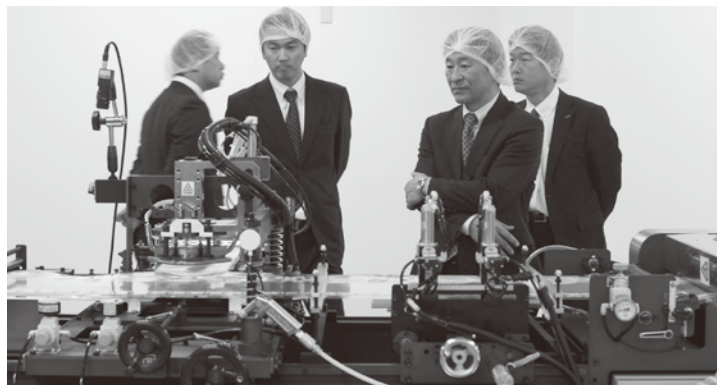
平成28年4月15日(金)  
**（株）KKI沖縄支店及び  
 新工場竣工式・落成祝賀会**



厳かに竣工式が執り行われ、関係者を招いての見学会では最新の包装機器などの説明がなされました。



写真左から  
 オキコ株式会社代表取締役社長 仲田龍男氏  
 株式会社KKI代表取締役 寛正紀氏  
 株式会社KKI沖縄支店長 高橋克彦氏



パン用包装を専門に扱う株式会社KKIは愛知県に本社を置き、神奈川県、大阪府にも支店を持ちます。複数の事業所を持つことにより、多様なニーズに対応できる体制を取っており、このたび沖縄支店及び新工場が完成しました。

糸満市に新設された支店・新工場へは、オキコ株式会社代表取締役社長仲田龍男氏をはじめ、関係各位が訪れ、支店・新工場の完成を祝いました。沖縄支店・工場の発展と安全を願う竣工式が厳かに進められ、終了後には関係者を施設内に招き入れたの見学会も行われました。出席者は小ロット・短納期を可能にするための最新機器を見学し、株式会社KKIが品質管理を目的に導入しているトレーサビリティ（製品管理）について担当社員の説明に耳を傾けていました。

同時開催された落成祝賀会では、株式会社KKI代表取締役寛正紀氏が挨拶し、「沖縄支店の構想がはじまってからこれまでに困難もあつたものの、多方面からの協力を受け、無事にこの日を迎えることができ、感慨深い。包装業を通じて、沖縄の産業に寄与することができれば」と意気込みを語り、関係者の協力に感謝を述べました。

## 「オグレスビー氏産業開発基金・奨学金」授与式 ～沖縄工業高等専門学校～

沖縄高専では、4月2日(土)同校校長室において、平成27年度オグレスビー氏産業開発基金・奨学金の授与式が行われた。

同奨学生に選ばれた学生は、生物資源工学科の伊志嶺桃佳さん。当日は、呉屋工連会長より同校の安藤安則校長に委託を行い、その後、安藤校長より伊志嶺さんへ奨学金が授与された。

オグレスビー氏産業開発基金は、沖縄の工業発展に大きく貢献した故サムエル・C・オグレスビー氏の貢献を永く祈念するために1987年に設立。

当基金では次世代を担う学生を対象に奨学金を交付している。



写真左:(公社)沖縄県工業連合会会長 呉屋守章氏  
写真右:国立沖縄工業高等専門学校校長 安藤安則校長

### 【推薦内容】

伊志嶺さんは、学業成績が極めて優れており、専門である生物関連の科目だけでなく、数学、物理等の科目においても、沖縄高専においてトップクラスの成績を残しております。1・2学年の学科クラスの級長を2年間努めており、その責務をしっかりと果たしているため、クラスと同級生の信頼も厚いです。普段は物静かですが、意見を言うべき時に的確な意見をしっかりと述べる意思の強さもあります。また、専門科目での演習では、チームとしての和を大事にし、リーダーシップを発揮しつつも、メンバーの個性を大事にしながら課題に取り組むなど、柔軟かつ積極的な姿勢が伺えます。優秀かつ伸び盛りの伊志嶺さんを、今後の沖縄県の時代を担う若手人材として、更に飛躍して成長してもらうためにも、学科全教員が一致して今回の奨学生に強く推薦します。



# T@B@T@T@E! NEXT JAPAN

沖縄の若者の海外留学促進のためのご支援のお願い

## 沖縄からアジアへトビタテ！ 留学JAPANプロジェクト

グローバル人材の育成は、今後の日本の経済成長を支えていく上で喫緊の課題となっています。特に、日本人学生の海外留学経験者の減少に歯止めをかけ、我が国の未来を支える若者たちが、社会に出るまでに日本と異なる文化・社会に飛び込む環境を整えていくことが必要であるという認識が経済界を中心に広がっています。

沖縄県においても「沖縄21世紀ビジョン」の基本理念に謳われている、時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支えあう平和で豊かな「美ら島」おきなわを創造する、グローバル人材の育成が求められています。

沖縄県、内閣府沖縄総合事務局、県内企業、県内大学、短期大学、高等専門学校（大学コンソーシアム沖縄）が協力して設置しました「沖縄産学官協働人材育成円卓会議」を受け皿として、沖縄地域全体で学生の海外留学を支援する仕組みを築き上げ、昨年は名桜大学、琉球大学、キリスト教学院大学、サイテクカレッジの学生7名をアジアへ派遣することができました。

平成28年度においても、沖縄産学官協働人材育成円卓会議にご参加いただきますとともに、将来、沖縄の経済社会を担いグローバルに活躍する意欲と能力のある若者たちが、積極的に海外留学ができるよう、皆様からご支援いただけますようよろしくお願い申し上げます。

沖縄産学官協働人材育成円卓会議代表 国立大学法人琉球大学長 大城 肇

### 御寄附の払込み方法についての連絡先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課  
「一般社団法人大学コンソーシアム沖縄」事務担当 宛

Tel : 098-895-8030  
Fax : 098-895-8185  
E-mail : kntikicho@to.u-ryukyu.ac.jp



**トビタテ!**  
**留学JAPAN**  
その経験が、未来の自信。

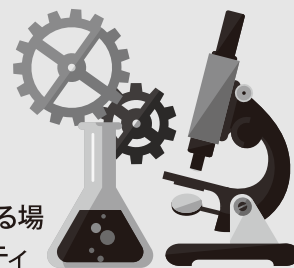
本事業は、皆様からのご寄付で成り立っています。意欲と能力のある学生が十分な学びを得られるよう、本事業の目的を御理解いただき、温かい御支援をお願いします。

※本プロジェクトは、法人格を有する団体が事業を管理する必要があるため、沖縄産学官協働人材育成円卓会議の会員である「一般社団法人大学コンソーシアム沖縄」が担当します。ついては、寄附金の管理業務は一般社団法人大学コンソーシアム沖縄の事務を担当する琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課において行います。

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology

## 沖縄高専イベント紹介

沖縄高専では学生が日々切磋琢磨し製作したロボットを地域の皆様に披露する場を設けています。今回は、3月24日(木)に開催いたしましたミニロボットフェスティバル(於:イオン名護ショッピングセンター)と3月27日(日)に開催いたしました海開き(於:カヌチャベイホテル)についてご紹介します。



### ミニロボットフェスティバル

高専ロボコン予選に出場した沖縄高専のロボット展示、都城高専(宮崎県)との遠隔操作ロボット競技や子ども向けのロボット操作体験を実施しました。ロボット競技では、白熱した戦いが繰り広げられ、勝敗は惜しくも都城高専に軍配が上がりましたが、歓声が起こり、会場が一体となったイベントとなりました。参加した子どもたちからは、「ロボットが格好良かった」「どうしてロボットが動くのか不思議だった」などの感想が聞かれ、ロボットに対する子どもたちの関心興味を引き立てることができました。



歓声が上がったロボット競技



真剣にロボット操作をする子ども達

### 海開き

沖縄高専では水中ロボットも製作しています。カヌチャベイホテルにて開催されました海開きでは、学生達がカメラを搭載した水中ロボットのデモンストレーションを行いました。ロボットが浮上し、水しぶきが上がる度に歓声があがりました。観客の方々には、カメラの映像や、操作する楽しさなどを体感していただき水中ロボットに触れる良いイベントとなりました。



操作の順番待ちをする子ども達



水中でのロボットの様子

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局 (担当:喜屋武)

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-50-0133・FAX:0980-55-4012

E-mail:sangaku@m1.cosmos.ne.jp ホームページ: <http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/>





## 2016年度 オープンキャンパスのご案内

### オープンキャンパスの日程

オープンキャンパスでは、学校説明、施設見学、各科体験学習のプログラムを準備しております。お気軽にご来校ください。

- 第1回 平成26年6月19日(日)  
担当講師による体験授業等を実施します。
- 第2回 平成28年7月29日(金)  
夏季集中実習の様子が見学できます。
- 第3回 平成28年10月1日(土)  
在校生による各科の紹介等を実施します。

お問い合わせ先：学務課 (098-934-4808)

### 学校紹介

沖縄職業能力開発大学校(沖縄ポリテクカレッジ)は、厚生労働省が所管する国立の大学校です。「ものづくり」等の仕事で活かせる技術が習得できるように実験・実習を重視したカリキュラムを少人数制で効果的に実施しております。

当校には、高卒資格取得者を対象とした専門課程6科(2年制)と、専門課程修了者等を対象とした応用課程3科(2年制)が設置されており、専門課程では実践的な技術者、応用課程では生産現場のリーダーを育成しております。

なお、専門課程修了は短大卒業相当、応用課程修了は四年制大学卒業相当となります。

### 沖縄職業能力開発大学校

#### 専門課程(2年)

生産技術科  
電子情報技術科  
電気エネルギー制御科  
住居環境科  
物流情報科  
ホテルビジネス科

進学

#### 応用課程(2年)

生産機械システム技術科  
生産電子情報システム技術科  
生産電気システム技術科

#### 建築施工システム技術科

(当校に設置されていないため九州能開大や近畿能開大へ進学)

短大卒 相当

四大卒 相当

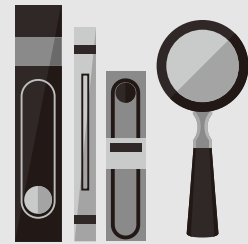
就職

❖地域企業の皆さんと一緒に「ものづくり」を行っていきたくと考えています。技術的相談等お気軽にお寄せください。❖

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校(援助計画課:岡村・赤嶺)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

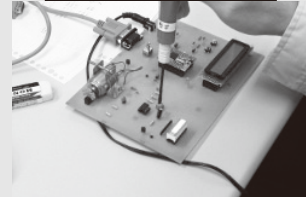
●メルマガ会員登録中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html> ●ホームページ <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>



生産技術科



電子情報技術科



電気エネルギー制御科



住居環境科



物流情報科



ホテルビジネス科





琉球大学工学部後援会からのお知らせ

## CO<sub>2</sub>削減とエネルギー・水産資源の創出

(株)沖縄ガス・(株)青い海・糸満市との産学官連携共同研究による実証試験

瀬名波 出 (琉球大学工学部機械システム工学科・准教授)



沖縄のきれいな海と豊富な太陽の光を利用して海藻を育てることにより、地球温暖化の原因とされている二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の削減、さらに再生可能エネルギーの開発や炭素資源の効率的利用を行う「炭素回生システム」の研究開発を進めています[図1]。その概要については以前に工連ニュース2014年10月号で紹介させていただきました。その取り組み内容を覚えている方がいましたら嬉しいかぎりです。今回はその実証試験として沖縄県の地元企業である沖縄ガス(株)、(株)青い海および糸満市浄化センターと協力して行った産学官連携共同の研究結果について報告します。

糸満市浄化センターで下水の処理過程で発生する消化ガス(メタン発酵ガス)はその成分としてメタンガス60%とCO<sub>2</sub>40%を含みます。現在、この消化ガスの有効利用事業として沖縄ガスが青い海にボイラー用燃料として供給し利用しています。共同研究はこの消化ガス中のCO<sub>2</sub>を回収することで、より有用な再生可能エネルギーとして高濃度のメタンガスにすること、さらに回収したCO<sub>2</sub>を海藻培養に役立てることで水産業にも貢献できるCO<sub>2</sub>資源として再利用可能なことを実証するものです。実証試験の概要を簡単なフロー図を示します[図2]。

実証試験は2015年から開始し、2016年3月まで行いました。青い海製塩工場内に設置した溶解装置で糸満市浄化センターから発生した消化ガスの一部を処理し、高濃度メタンガスとCO<sub>2</sub>溶解海水の生成に成功しました。なお実験は比較のため那覇浄化センターから発生した消化ガス(ボンベ詰めして輸送)も用いました。その結果、どちらの場合でも約90%の高濃度メタンガス生成が可能なことを確認しました。さらにCO<sub>2</sub>溶解海水を用いて海藻培養を行う実験を行った結果、消化ガス中のシロキサンが除去された那覇浄化センター由来のCO<sub>2</sub>溶解海水で海藻を培養し、通常の海水培養の場合に比べて約2倍以上の成長促進が可能なことも確認しました。

またCO<sub>2</sub>溶解海水により化学的処理を行わずに海水のpHを下げることで、この低pH海水を用いた工業利用も期待できます。

本共同研究の結果、下水処理から再生可能エネルギーであるメタン燃料、海藻の生産性向上、CO<sub>2</sub>排出量削減、CO<sub>2</sub>溶解海水の工業利用など複数の新たな価値を同時に生むことが実証されました。これからの未来型島嶼社会においてはこのようにこれまでの廃棄されていたものを再資源化・再エネルギー化し、新たな価値を生み出していくための複合的な仕組み作りが重要だと考えます。



図1 「炭素回生システム」概略

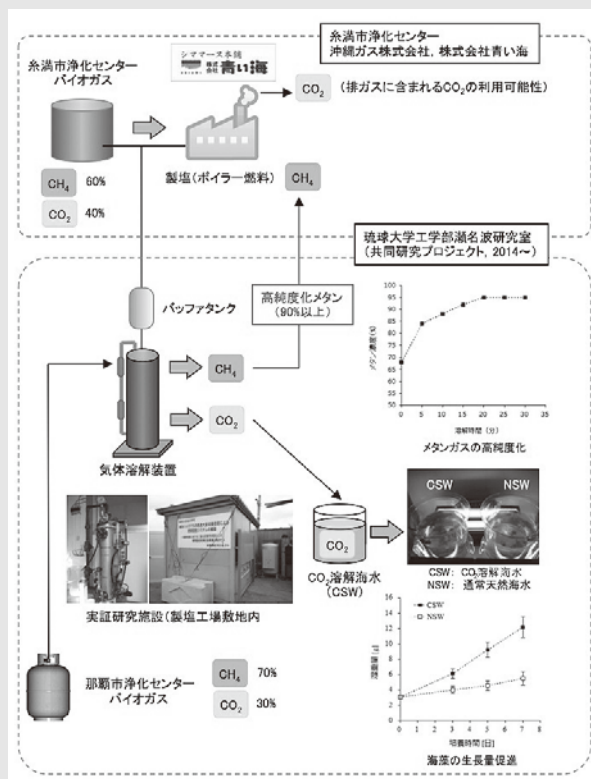


図2 実証試験のフロー概要

琉球大学工学部機械システム工学科 (瀬名波 出 senaha@tec.u-ryukyu.ac.jp)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 TEL:098-895-8637・FAX:098-895-8636





# 工業技術センターだより

## Okinawa industrial technology center



<伸びゆく沖縄・支える技術>

### 沖縄県工業技術交流センター(講堂・会議室等)を利用しませんか?

工業技術センターでは、県内企業向けに技術交流センターを開放しています。(工業技術センター2階交流棟) 各種講演会や式典、社内研修、発表会等に下記施設をご利用ください。来客者用駐車場(無料)も約100台分利用可能です。

- ① 使用時間: 午前9時～午後5時
- ② 休館日: 土曜および日曜日、祝祭日、6月23日、12月29日～翌年1月3日
- ③ 申込み: お電話にて予約状況を確認の上、使用予定日の2週間前までに「沖縄県工業技術交流センター使用許可申請書」を提出してください。(センターホームページからダウンロードできます。)
- お問い合わせは 工業技術センター企画管理班 TEL 098-929-0111 まで

### 施設概要

講堂



面積	362㎡
収容人数	200名(椅子のみ) 120名(机及び椅子)
使用料	4,030円/1時間あたり
冷房使用料	1,000円/1時間あたり

技術交流サロン



面積	68㎡
収容人数	16名
使用料	600円/1時間あたり
冷房使用料	240円/1時間あたり

研修室



面積	64㎡
収容人数	30名
使用料	600円/1時間あたり
冷房使用料	400円/1時間あたり

会議室



面積	67㎡
収容人数	30名
使用料	600円/1時間あたり
冷房使用料	400円/1時間あたり

※研修室と会議室をつなげて利用する場合は、使用料1,200円、冷房使用料800円(いずれも1時間あたり)となります。

沖縄県工業技術センターは県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発への支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

### 沖縄県工業技術センター (技術支援班/企画管理班)

〒904-2234 沖縄県うるま市宇州崎12番2 TEL:098-929-0111・FAX:098-929-0115  
E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp (メルマガを始めています。HPより登録ができます。)

● ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html>

## OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS TOPICS

## 沖縄県幹部と工連執行部との懇談会

平成28年4月5日(火)、ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューで沖縄県と工業連合会の懇談会が行われた。

懇談会は朝の7時半から開催され、県幹部(知事・副知事・知事公室長・部長)と工連執行部(会長・副会長・専務理事)が共に朝食を食べながら、沖縄県と工業連合会が行う取り組みについて話し合いがもたれ、呉屋会長から工連の主要事業「県産品奨励月間」と「産業まつり」の取り組みについて、沖縄県の理解と協力に感謝を述べた。

沖縄県と工業連合会が今後の沖縄の振興と発展に向けて意見交換をする有意義な懇談会となった。



工連の「県産品奨励月間」、「沖縄の産業まつり」の取り組みについて説明する呉屋会長(上段写真:右上)



## 沖工連青年部会 会員募集中!

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格 / 公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会費 / 入会金10,000円、年会費20,000円
- 会員数 / 19名(2016年4月現在)



お問合せ先:公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:小浜)

## 公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約350社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

## 会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



## 会員の皆様へ「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

## ●お問合せ先

公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当:川満

掲載  
無料

業況悪化に  
苦しんでいる  
方へ

# 経営改善支援

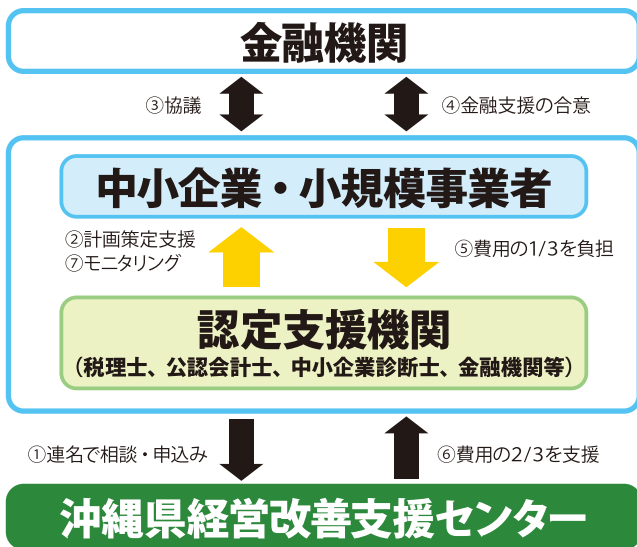
## 認定支援機関による経営改善計画策定支援

専門家の力を借りた経営改善計画書の策定を支援します！

こんな方にお勧めです 金融機関への返済条件等を変更し資金繰りを安定させながら、

- 売上を増加させたい
- 黒字体質の企業に転換させたい
- 会社のビジョンを社員と共有して 全社員一丸となった改善を実施したい
- 人件費以外でコストを削減したい
- 業況悪化の根本的な 課題を見つけたい
- 計画策定後も 継続的にフォローアップをお願いしたい

事業内容や財務状況など、経営上の課題を抱えながら、条件変更や融資（借換融資、新規融資）などの金融支援が必要な中小企業・小規模事業者の皆様が、国の認定を受けた専門家（認定支援機関）の助けを得て経営改善計画を策定する場合、経営改善計画策定に要する費用について、総額の2/3（事業者の規模等に応じて十数万円から上限200万円）まで負担します。



## 認定支援機関の役割

- 専門家が経営改善計画の策定をお手伝いします！
- 計画作成後は定期的にフォローアップします！



経営改善計画策定に係る費用のほか、計画策定後3年間の定期的な計画進捗状況の確認や金融機関等への報告の費用についても、本事業における負担の対象となります。

## 信用保証協会も積極的に経営支援に取り組みます！

経営が安定せず条件変更を繰り返すといった事業者の経営改善を促進するため、各信用保証協会において、地域金融機関等と連携した経営支援を一層強化し、積極的に取り組みます。

お問い合わせ・ご相談

那覇商工会議所  
沖縄県経営改善支援センター

TEL 098-867-6760

FAX 098-867-6773

Web <http://nahacci.or.jp/saisei/>

住所 〒900-0033  
那覇市久米2-2-10(那覇商工会議所4階)

沖縄県経営改善支援センター

検索





県内唯一!

# サッシ形材製造



沖縄の気候風土に合った製品を提供!

サッシ・  
雨戸の事なら



金秀アルミに



お・ま・か・せ♪



ホテルオリオンモトブリゾート&スパ

モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リュークスタワー、  
リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!

那覇新都心に完成した地上30階建ての「リュークスタワーマンション」で採用されました主力製品「ハイパーサッシ」は、当社風洞試験において「96m/秒」相当の風圧に耐えられる事が実証されています。

秀 金秀アルミ工業株式会社  
<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100  
営業本部 098-835-8101・8102  
生産本部 098-835-8104・8105